

# まちづくりを一步前進させる ためのみなさんの声

人権のまちづくり

- 2 アンケート集計から見えてきたこと
- 3 人権のまちづくり三原則
- 4 メッセージ
- 5 子どもの教育費 経済格差と学力格差
- 7 若者と高校生の就労の現実から
- 9 就職差別と統一応募用紙
- 11 子どもたちの遊びと学び 学び場支援事業
- 13 コムコム 人と人が出会い、人と人がつながる場所



小郡のまちをもっとよくするために  
自分ができること

人権のまちづくりをテーマとしたこの啓発冊子も今回で33集となります。前回の32集では『子どもたちの笑顔に出会う人権のまちづくり』というテーマで子どもたちに関わる様々な取り組みを紹介しました。さらに、『しあわせきぼうまつぷ』という啓発パンフレットを制作し、日常的に開催されている人権に視点をおいた取り組みをテーマごとにまとめています。内容は教育条件整備・学び場支援事業・奨学金・ボランティア講座・生活リズム・若者支援・不登校の7点について取り上げています。このパンフレットの終わりにはアンケートを添付しました。様々な問題を「個人の問題」か「社会の問題」かを考える項目「小郡のまちをもっとよくするために自分ができること」といった項目を入れています。今回はこのアンケートを集約し、みなさんの声を反映した紙面作りをめざしています。

また、啓発冊子を企画するにあたり、住民の方々と編集デザイナーなどが参画する編集会議『IDO BATA フリートーク』を設置しました。研修を兼ねた編集会議では、人権に関わる活動をしている人たちの取材や実際に困っている、現実に直面している人達の生の声を積極的に取り込む姿勢で臨みました。